修徳

題字：伊藤博文

発行所
修徳自治連合会
PR・情報委員会
修徳社会福祉協議会
発行責任者　平井常夫
編集責任者　小西宏之
印刷所　㈲章美プリント

毎年、社会福祉法人下京区社会福祉協議会から助成金をいただいて、広報紙作成の一助にいたしております。

社会福祉協議会組織の拡充

平成16年度修徳自治連合会総会

今年度の重点新規施策

平成16年度の総会には前年度から引き継いで完成すべき事業と、本年度に新たに課題として手をつけた内容とがある。また、この質素な総会はできるだけ経費を削減して、学区民の皆さんに喜ばれる事業や自分たちの『まち』の課題に対応する施策に、重点的に予算を配分できるひとつの契機ともなっている。

5月8日(土)午後5時、町内会長、理事、顧問の皆さんなど、総会構成員の皆さんは、せんだんホールで、真剣な面持ちで、しかも、和やかに、議題を審議した。前年度の活動と会計報告を承認し、本年度の事業予定と予算も承認した。

① 今年度の新規施策は、社会福祉協議会の組織の整備で、平井会長の優れた発想が、各町の福祉員制度を生んだ。窓口設置から始まって、社会福祉協議会のシステムの構築が展望される。

② 昨年度は、修徳学区の『地区整備計画』を急ぐ必要があると判断したが、地権者の絶対多数の承認が必要とわかり、今年度は、学区の皆さんの望む『まち』のビジョンを確定し『まちづくり憲章』(仮称)を採択する正攻法に戻る必要がある。

③ 学区内の人口が、従来の住民とマンションの新住民が同数程度になっている。マンションを自治の空白から防がないと、安心安全のまちづくりという危機管理の完成はできなくなった。今年度はマンションとの交流を進める。このような今年度の施策に対して、学区民の皆さんのご理解とご支持をお願いしたい。

質素だけれど真剣で和やかな総会風景 ▶(右から)篠原、入江、山村、小林、近森、松本の各顧問

会長再選・2期目を迎えて

急激な少子高齢化に対処

修徳自治連合会会長　平井　常夫

平成14年度初頭に修徳自治連合会会長を仰せつかり、この3月の評議員会で再選され、早、2期目をむかえることができました。

1期2年間の任期中に経済構造の変化や不況で、生活環境や町並みが急激に変貌し、学区民の皆さんの考え方や物事の捉え方も変化してきました。この状況に柔軟に適応して、学区民の皆さんの要望に沿った自治活動を推進することが、最大の任務であると認識し活動してまいりました。

このような私の意とするところを各種団体長もよくご理解をいただき、これまでの諸行事に新鮮さを取り入れ、とくに、まちづくりに重点を置いた企画で、すばらしい成果をあげていただきました。

また、本格化する少子高齢化社会のなかで、少子化の面では「子育て」を背景に「家庭内暴力」や、「児童虐待」の問題があり、高齢者に関しては、健康不安や社会的な孤立などの問題があります。

社会福祉協議会の組織を構成している女性会、少年補導委員会、民生児童委員会の諸団体に加えて、「子育て」を今世紀の課題として本格的に取り組もうとされている更生保護女性会など、関連各団体の機能を総合的に活用しなければなりません。さらに、今年度は、社会福祉協議会独自でも活動できるよう、各町内会から福祉員を選出していただき、組織の拡充も図りました。

子育てや児童虐待、高齢者の孤独などの悩みの相談窓口をはじめ、問題や悩みにきめ細かく対応できるシステムの構築を目指したいと考えております。

修徳学区のビジョンを成文化

さて、今期も、第1に、町内会長はじめ学区民の皆さんと共に、修徳学区のビジョンをつくり成文化致します。第2に、連合会費の年間千円の値下げの実現に努力します。第3に、マンションとの交流の波及と拡大に努めたいと存じております。前期に増して、学区民の皆さんの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、各種団体におかれましては、今年も行事の内容がより充実するよう創意工夫に努められ、学区民の皆さんが望まれるところを的確に捉え、実行に移していっていただきたいと存じております。

『地域安心安全ネット』のモデル地区に

地域安心安全ネットのモデル地域に、六原(東山)、吉祥院(南)、砂川(伏見)とともに、修徳学区が選ばれたという新聞報道(6月23日付京都新聞)はお読みになったと思います。

この取り組みは、自分たちの地域住民が中心になり、行政と協力しながら、まちをよく観察し、防犯、防火防災、交通安全、児童の保護を中心に、「安心安全のまちをつくるシステム」をつくる活動です。行政のメンバーは、下京区役所まちづくり推進課長松田隆さん、五条警察署生活安全課長坂手貴さん、下京消防署警防課長宿久勝彦さん、洛央小学校校長山脇安三さん、南部土木事務所所長石川三樹生さん、景観まちづくりセンター事務局次長奥美里さん、アドバイザーとして、大阪大学大学院助教授渥美公秀さんに、それぞれお願いすることになりました。

具体化へ始動

修徳学区安心安全ネット推進実行委員長に、私、自治連合会会長平井常夫が、副委員長に、松本泰彦さん(防犯)、数井晴次さん(交通)、森田吉夫さん(消防)、平岩真治さん(少補)が就任し、自治連合会の理事会構成メンバーが、その委員会、団体の機能を動員してバックアップすることにいたします。

推進実行委員会

7月13日(火)午後7時30分より、ふれあい福祉会館4F会議室で、このような人選を決め、ふれあい広場終了後に、具体的な安心安全ネットの構築過程をきめて着手し、12月中に成果をまとめることになります。

修徳学区安心安全ネット
推進実行委員長
平井　常夫

お客様とともに
時代とともに・・・

わたしたちアイフルグループは
さまざまなサービスを創造する
リテール総合金融企業を目指します。

安心・創造企業
アイフル
株式上場企業〈東証一部・大証一部〉
アイフル株式会社／本社:京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1 TEL(075)201-2000(代表) http://www.aiful.co.jp
●資本金833億1702万円 ●登録番号:近畿財務局長(7)第00218号 ●京金協第476号、外各都道府県貸金業協会会員

京都市立ようばい幼稚園
住所　醒ヶ井通松原下る篠屋町59
TEL 351-0937

教育相談『ひよこの日』
9時から11時30分

遊びに来れる日	3歳児	月・水・金
	0歳児	火・木

安心して、小さなお子様に遊んでいただけるよう、当園の施設を開放しています。

夢の半径、広がるね。
こころをこめて地域と歩む
中信 CHUSHIN
五条支店
五条通西洞院角
☎(351)2951

アイデアに富んだ消防分団の訓練
どの経路を使えば避難できるか!?

火元確かめ即時判断

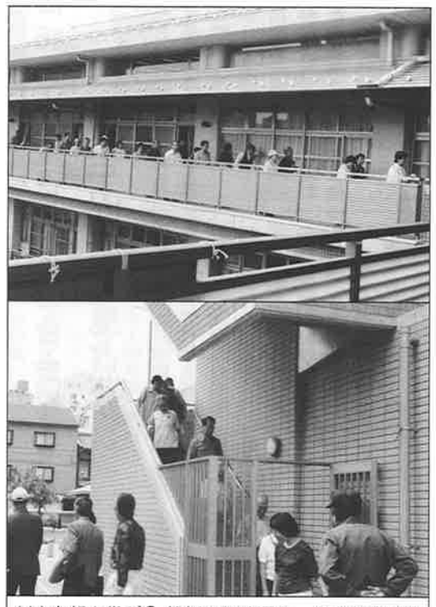
アイデアに富む修徳消防分団の訓練は、学区民と共同のかたちで、5月23日の日曜日、午前10時30分から、「修徳ふれあい福祉会館」で実施された。修徳学区の皆さんが、日頃からふれあいの場として使用しているせんだんホールや会議室で集まっているとき、会館のどこかで火災が発生したら、どの経路を使って避難するかを体験した。

「避難口はどこにあるか」という質問に、ホールの電光板の場所を見ながら、あれじゃないかなといった雰囲気がでる。しかし、「どこが火元か」によって、利用する避難口は異なるに違いない。建物内の1階の炊事場から出火しているのに、建物内部の非常口を使ったのでは、煙に巻かれる恐れさえある。せんだんホールの東外側にベランダ通路があり、内部を通らないで避難できる。参加した約100名の学区民は下京消防署員や修徳消防分団員の誘導で、外部階段をおりて、修徳公園北側へ無事避難した。

▶1階炊事室から火災の発生を想定

修徳公園では、(1)森田消防分団長が、火災発生時点で119番通報した消防隊が到着する。(2)火災発生の初期段階での活動内容を、分団長から指示された消防分団員が消防隊を誘導し、消防警戒区域の設定を行なう。これは、初期消火の消防隊との連携活動で、警防活動の能力向上を目指した訓練である。

学区民は修徳公園で、下京消防署員による屋上に取り残された人の救出訓練と、修徳消防分団員の「100トン貯水の防火水槽」を活用した消防分団の小型ポンプとホースの操法を見学して、避難訓練を終えた。


(上)内部火災だ! 外側の経路選ぶ　(下)無事脱出

旅行などで旅館やホテルに到着したとき、気軽に、火災が発生する場所を複数想定して、その時の避難口の確認と、自分たちが避難していく経路をゲームのように、頭に描いてみる習慣をつけたいものである。

京野菜のお弁当を配る
ひとり暮らし高齢者に
福祉員さん初仕事

本年度4月に、社会福祉協議会の活動を独自に担う注目の「福祉委員」組織が発足いたしました。

社会福祉協議会は6月12日に、初仕事として、各町の福祉委員さん21名にご参加いただき、「ひとり暮らし高齢者」の皆さんに、昼食を配食いたしました。

それに先立つ4月22日には初会議を開き、各町の「ひとり暮らし」の方々の名簿を作成し、5月にはいると、お配りするお弁当が高齢者の方々に気に入っていただけるよう全員で話し合い、よく吟味して選びました。

下に「じゃこめし」上に「京野菜の二段重ね」の弁当にきめました。

中味だけでなく「包装はほどきやすいように」とか、「1個ずつ袋に入れる」とか、委員の方々の細やかな心遣いが嬉しく思われました。

今後とも、福祉委員の皆さんと力を合わせて、少しでも学区民のお役にたてるように、活動をしていきたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

社会福祉協議会
会長　川成　茂照

表彰　受賞者のお知らせ

4月15日
五条防犯推進委員協議会
会長表彰
勤続十年防犯推進委員功労
浅野　三朗（材　木）
松本　泰彦（大　堀）

5月23日
下京消防団総合査閲
京都市長表彰
修徳消防分団

5月31日
市長表彰
市民憲章推進者
平岩　真治（月　見）
福井　謙三（小田原）

（敬称略）

おめでとうございます

本年度も京都市長表彰に輝く
下京消防団
総合査閲

5月23日午前6時30分皆山中学校の校庭は、静かな早朝の緊張感が広がっていた。『下京消防団総合査閲』が、各学区の消防力防災力の象徴として、今年度も恒例行事として実施された。昨年度、修徳消防分団は、市長表彰が15回に達したということで、京都市消防団協会長から『特別優秀竿頭綬表彰』の栄誉に輝いた。その金色の『竿頭綬』をつけた分団員が整列する。

今年度も、高い評価を得られるだろうと信じて見守る。後日、決定の通知は最高位の『京都市長表彰』であった。

ミニ集会モデル地区のなかの修徳

今年度は、更生保護婦人会の名称が『更生保護女性会』と改められ、また、修徳が属している下京北地区が「ミニ集会モデル地区」になっております。

このような時期に、会長をお引き受けすることになり、会員の皆様のご協力をえて、更生保護女性会の活動（今後、更女活動と略します）を、さらに充実させていきたいと存じております。

さて、初めての集会を、ミニ集会の第1回目として、4月16日に開催いたしました。12人の会員の方々にお集まりいただいて、

○ 虐待について
○ 今後の更生保護女性会について
○ 子育てについて

など、たくさんのご意見をいただきました。

「ミニ集会のモデル地区」指定の趣旨は、集会での話し合いを「安心安全の地域社会」の実現に生かそうとするとき、地域の関係機関や団体との連携が欠かせないということです。

また、今後の更女活動の活性化を図るためにも、学区の皆様方、各種団体の皆様方のご協力をお願いしていきたいと思っております。

更生保護女性会
会長　川成由美子

更生保護女性会

下京北地区総会と見学
京都ライトハウスへ

6月3日「下京北地区更生保護女性会総会」が午前中にあり、午後からは京都ライトハウスを訪問してまいりました。

『盲目は不自由なれど
盲目は不幸にあらずと
しみじみおもう』

これは、ライトハウス初代館長鳥居篤治郎先生の言葉です。ご自分の土地を提供され、京都における『視覚障害者の灯台』を創立された方です。

今年1月に竣工された館内を案内していただき、将来の〝福祉ニーズの変化に対応できる総合福祉施設〟としての機能の充実を図ったといわれる各階の配置に感動いたしました。

本日、案内してくださった視覚障害者の方の明るい声を聞きながら、街へ出かけた時に、このような方にお会いしたら、「そっと白い杖になれたらいいな」と、思っていました。

更生保護女性会
会長　川成由美子

視覚障害者の灯台　盲目は不幸にあらず

伏見稲荷大社還幸祭

▶田中社の神輿・中野之町の福田金属預かりの額

▶神事委員会の川上弘さん(右)、福井謙三さん(左)

▶(右)黄瀬良彦さん(布屋)(左)田中一博さん(悪王寺)

今年は神事委員会の組長川上弘さんと副組長福井謙三さん、町内会から布屋町の黄瀬良彦さんと五鳥悪王子町の田中一博さんが供奉した。

神輿の「田中社」の額は中野之町の福田金属さんがお預りの由緒ある額である。神輿をいち度写真におさめておきたかったのが実現した。供奉の皆さんご苦労さまでした。

日赤社資募金
ご応募に感謝

毎年、ご協力ありがとうございます。平成16年度日赤募金の応募状況をお知らせ申しあげます。

21町内　510件
計　26万600円

となりました。ここに改めてお礼申しあげますと共に、日本赤十字の活動にご理解協力を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

日赤修徳分団長
松井　孝

社会福祉協議会賛助会員
会費のご報告
ここでも福祉員さん活躍

個人会員　489口
244、500円
法人会費　1口
10、000円
合　計
254、500円

6月に、各町の福祉員さんに集めていただいた社会福祉協議会の賛助会員費は右のとおりでした。

6月末に下京区社会福祉協議会へ納金してまいりました。

格別のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会
会長　川成　茂照

女性会
教室シリーズ

有機栽培のおいしい野菜教室

〝有機〟って基準きびしい！

6月23日(水)午後7時、せんだんホールは、「有機栽培のお話」ということで、食の安全に対する関心の強さを示して、91名もの会員の皆さんの期待で満ちていました。

食品の安全に関心集まる

この教室の冒頭、中村会長はご挨拶のなかで、ご自分がおばあさんと畑仕事をされていた頃、とりたてのおいしかった野菜の味がなつかしく思い出され、本日の催しが実ったとのことです。

◆　◆　◆

「京」有機の会の元会長でエコファーマー会長の辻昌男氏の講義の要約をご紹介しましょう。

[1] 有機栽培

(1) すべて合成物は一切使用しない。

(2) 畑の四方6m以内に有機栽培以外の栽培は許されない。

(3) 3年以上、完全な有機栽培を実践した上で、その土地、栽培した野菜の公的審査を受け、合格した栽培法である。

[2] エコファーマー

収穫までに3回くらいの化学農薬、肥料を与える。

[3] 特別栽培農産物

化学合成農薬の使用回数が50%以下、化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培された農産物である。

[平成16年4月1日基準変更]

以上の3段階に分けられています。

◆　◆　◆

お茄子の栽培は間にトウモロコシを植えて害虫を防ぐ方法があります。(このトウモロコシは商品になりません) 寒冷紗の布で覆いをして害虫を防ぐなど、収穫までの苦労話もされました。

つぎに新鮮な野菜の見分け方、良品の選び方、輸入品の選別、保存温度などの講義を受けました。おいしくて安く手に入る旬の野菜をたくさん食べることが賢明であるとのことです。

◆　◆　◆

生産者、消費者の立場になって、お互いに意見交換をし、講師の方への数々の熱心な質問、応答のうちに「教室」を終了しました。

参加者全員に、本日のテーマの野菜のおみやげが配布されました。女性会員にとって、身近で有意義な勉強会でした。

女性会
庶務　西村　佳子
(PR・情報委員会副委員長)

▲ 有機栽培の野菜に関心が集まる女性会

第2回下京体振連合会運動会

『大なわとび』堂々の1位

5月30日、第2回下京区体育振興会連合会の運動会が、晴天のもと開催されました。修徳体育振興会は、21学区中総合3位に入賞しました。

修徳は、10種目の競技のすべてに出場し、いずれも上位に残りました。

特筆に値するのは、1分間に何回とべるかを競う『大なわとび』で、他学区は30数回であったのに対し、修徳は43回もとんで、堂々の1位となりました。

1分間に43回とぶ

リレーの力走目立つ 木倉さん、山本くん

他にも、混合800mリレーや、男子400mリレーは、ともに予選を見事に通過し、決勝に進出しました。

とくに、混合800mリレーでは、大江町の木倉彩早(あやさ)さん(小6)と深草町の山本剛史くん(小6)の力走が目立ちました。

この運動会は、まだ歴史が浅いのですが、これから、毎年行なわれるようですので、来年もみんなで楽しくがんばりたいと思います。

体育振興会
会長　福井　謙三

第50回

修徳ふれあいソフトボール大会

優勝　材木町

今年の『修徳ふれあいソフトボール大会』は、6月27日の日曜日、9時から、成徳中学校校庭で開催しました。第1から第6まで、6ブロックに分けてチームを組んでいます。残念ながら、第1ブロックは、不参加でした。優勝は材木町、準優勝は大江町と、単独町のブロックがチームワークがよかったのか、好成績をおさめました。

今年は、50周年記念大会ということで、試合終了後、ホームランゲームをして楽しみました。

体育振興会　会長　福井　謙三

チーム	チーム編成の町名
第1ブロック	◎月見　藪下　亀屋　布屋　富永
第2ブロック	材木
第3ブロック	◎小田原　中野之　坂東屋　徳万　元両替
第4ブロック	◎御供石　高砂　弁財天　玉津島　五鳥悪王子
第5ブロック	◎深草　玉屋　吉水俊成　大堀
第6ブロック	大江

(注) ◎は本年度ブロック長です。

教室シリーズ

健康体操教室 ヨーガの基本学ぶ

待ちに待った5月19日、高橋先生をお招きしてのヨーガ。

私だけでしょうか？先生のあの笑顔とお話!?いつもいつも楽しみにしております。

今回もどんなお話が聞けるか。でも、いざ文章にと言われると、なかなかか。

頭の中では解っていても、言い表すことのむずかしさ。

でも心に残ったのは、「自分の人生、心の持ち方ひとつ。不平不満を言わない明るく、大きな声で前向きに生きる」ということ。

毎日、夜十一時から、NHKラジオ「深夜便」の夜明け午前4時からのお話がとっても楽しいとか、早起きされる方、なかなか眠れない方、一度、お聞きになってみては如何でしょうか。この日はヨーガの基本、腹式呼吸とサバサーナ(休息のポーズ)。これだけは皆さんしっかり思い出し毎日1回は行うようにし1日1日を大切に楽しく生きてゆきましょう。

女性会の会員の多数のご出席心よりお礼申し上げます。

女性会　菊地　悦子

女性会

下京たんぽぽ広場　親子のいい顔

民生児童委員会は、去る5月25日、元安寧小学校で、乳幼児とその保護者を対象に、「下京たんぽぽ広場」を開催しました。

朝から五月晴れの好天に恵まれ、会場の体育館は「魚つり」「折り紙」「お絵かき」「絵本」等、各コーナーが所狭しと準備され、あとは「どれほどの親子さんたちが来てくれるのか」と、内心ドキドキしていました。

が、開場の10時を待たずに、ひと組、ふた組とベビーカーや自転車に乗った親子連れがつぎつぎに来られ、体育館の中は、あっという間に泣き声や笑い声で一杯になりました。私は絵本コーナーの担当だったのですが「かみふうせん文庫」の方たちのパネルやエプロンを使った声の絵本に子どもたちは大変興味があるらしく、お母さんたちにも好評でした。お母さん方の反応も上々で、「また、してくださいね」という声が多かったです。そんな声を聞くと私たちも心から「やってよかった」と改めて思いました。下京としては初めての試みだったのですが、今日ここに来られている親子さんたちを見る限りでは、世の中に子どもの虐待など本当にあるのかと思うほど皆さん「いい顔」をされていました。和気藹々(あいあい)と話もはずんできた頃に、もう終わりの時間となり、名残惜しそうに帰っていかれる親子の後姿を見送りながら、いつまでも今日のような「いい顔」の親子でいてくださいと心から願わずにいられませんでした。

民生児童委員会
主任児童委員
中村　秀子

民生児童委員会のいい試み

献血友の会 & 市民検診

保健協議会

5月11日(火)に献血友の会を実施いたしました。53名の方にご協力いただきました。最近では、血液型に関係なく血液が大変不足しております。修徳学区でも、年々献血者数が減ってきている状況です。そんな中ご協力くださった方々には、感謝致しております。

また、6月1日(火)には今まで成徳学区と合同で成徳中学校で行なっていた市民検診を、修徳学区単独で、ふれあい福祉会館で行ない、約80名の方が検診に来られました。

尚、今年から大江町の川成茂照さんに副会長になっていただきました。

これからもご協力宜しくお願い致します。ありがとうございました。

保健協議会
会長　森　修司

子育てとふれあいのプラザ